

株式会社 トリケミカル研究所

第39期(2017年1月期)

決算説明資料

東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード: 4369

2017年3月

1. 2017年1月期業績

2017年1月期業績の概要

単位:百万円

	16.1期	17.1期	増減額	増減率
売上高	4,956	5,469	+513	10.4%
営業利益	721	976	+255	35.4%
経常利益	693	975	+281	40.7%
当期純利益	473	767	+294	62.1%

！売上高・利益共に創業来最高を更新
！特別利益に投資有価証券売却益142百万円

財政状態の概要(貸借対照表)

単位:百万円

	16.1期末	17.1期末	増減額
流動資産	3,757	4,041	283
固定資産	2,234	3,013	779
資産合計	5,991	7,055	1,063
流動負債	1,745	1,903	157
固定負債	870	1,080	210
負債合計	2,616	2,984	367
株主資本	3,369	4,065	696
評価・換算差額等	6	5	-0
純資産合計	3,375	4,071	695
負債純資産合計	5,991	7,055	1,063

主な増減要因

流動資産	現金及び預金の増加	+664	流動負債	1年内返済予定の長期借入金の増加	+59
	売掛債権の減少	-398		買掛金の増加	+56
	(回収条件の改善等による)			未払法人税等の増加	+42
固定資産	設備投資等に伴う有形固定資産の増加	+512	固定負債	資金調達による長期借入金増加	+204
	関係会社株式の増加	+325		純資産	純利益計上による利益剰余金の増加
	株式売却に伴う投資有価証券の減少	-30			

財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位: 百万円

	17.1期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,483
投資活動による キャッシュ・フロー	-1,009
財務活動による キャッシュ・フロー	190
現金及び現金同等物の 増減額	664
現金及び現金同等物の 期末残高	1,495

CFの状況

営業CF

税前純利益計上	+1,118
減価償却費計上	+337
売上債権の減少	+398
法人税等の支払額	-283

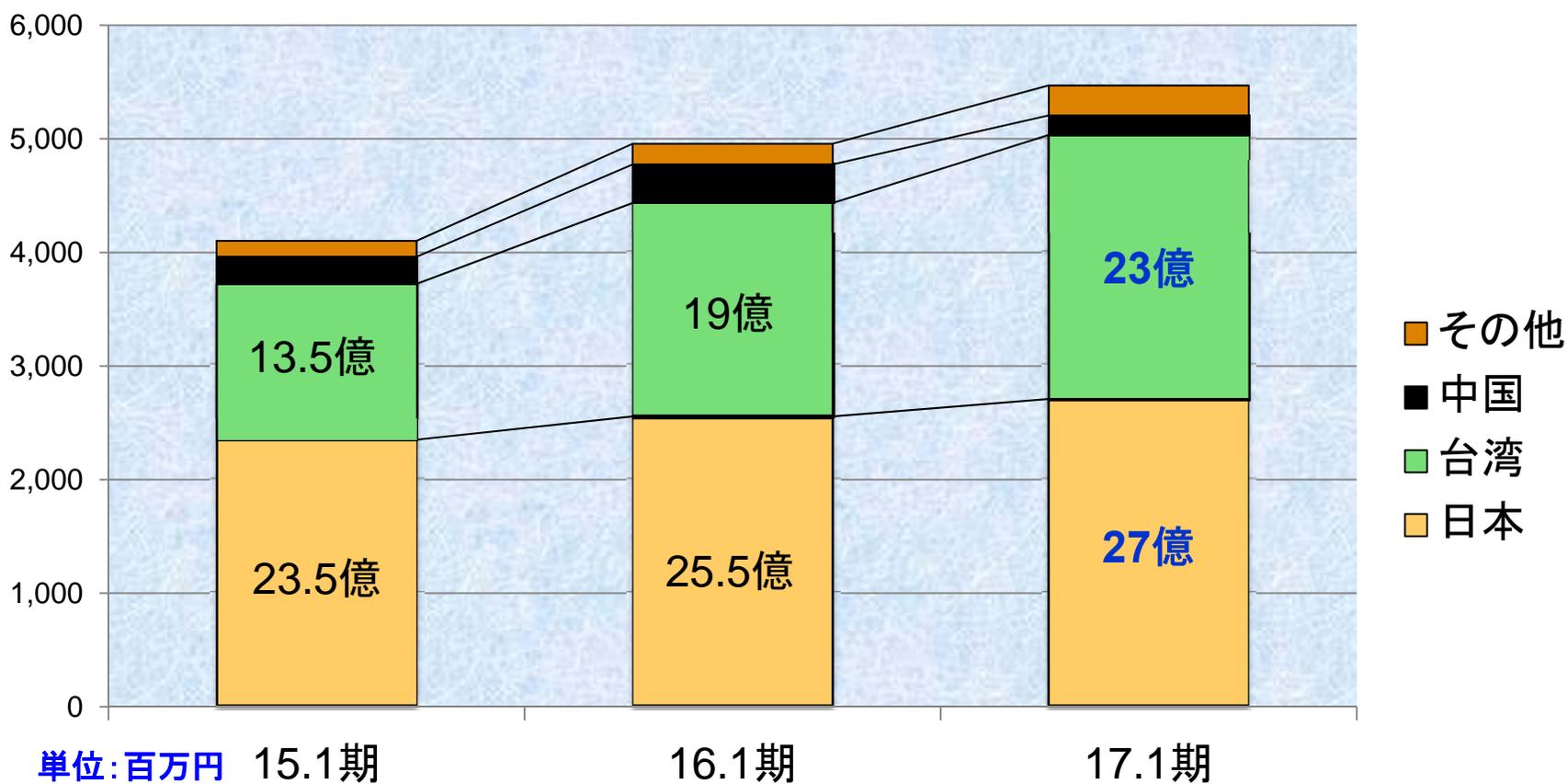
投資CF

投資有価証券の売却	+173
有形固定資産の取得	-856
関係会社株式の取得	-325

財務CF

借入金調達・返済	+263
配当金の支払額	-77

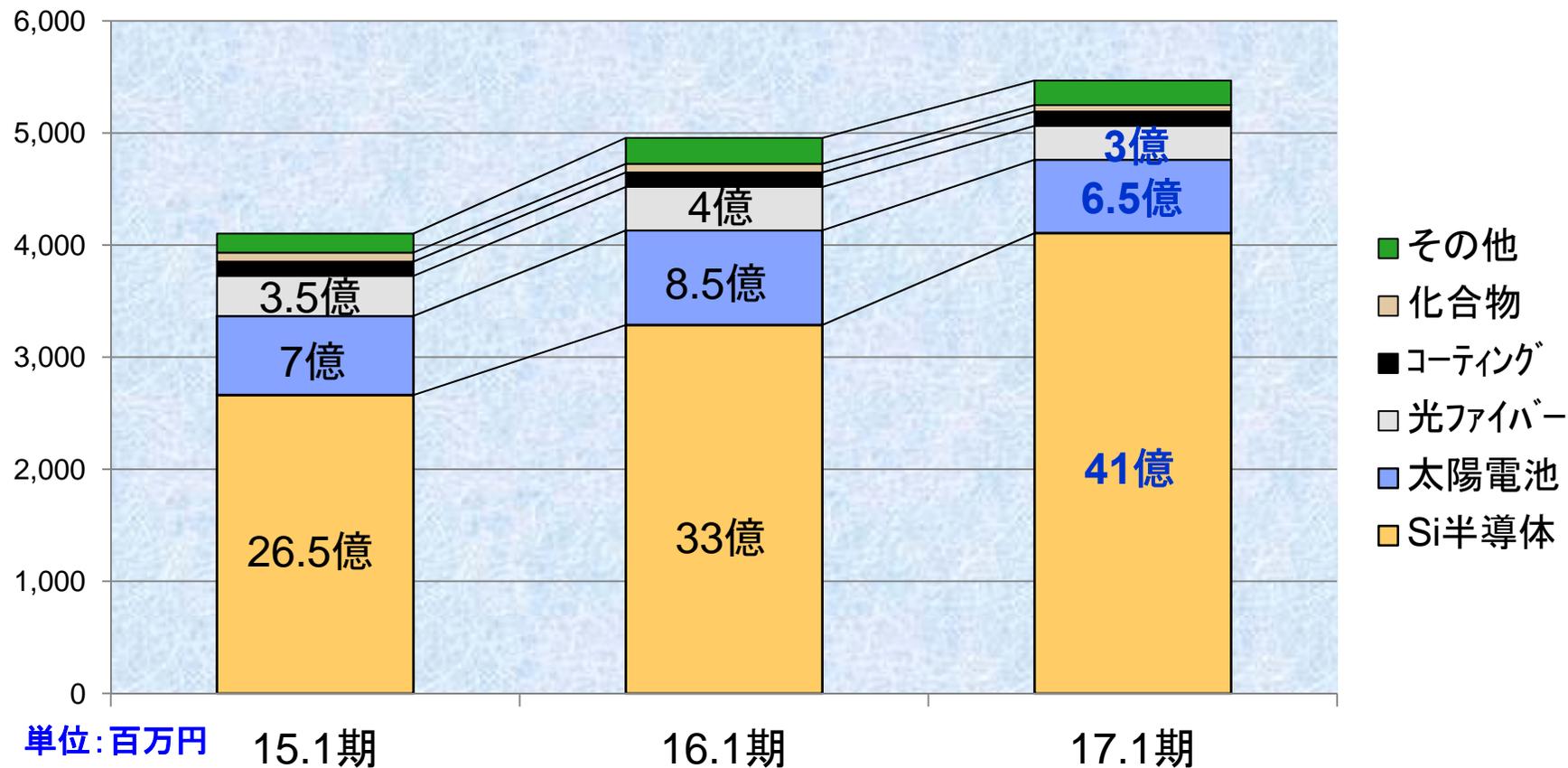
売上分析(ユーザー地域別)



単位: 百万円 15.1期
 ※当社推定による概算値

！ 台湾向け売上が業績の成長要因

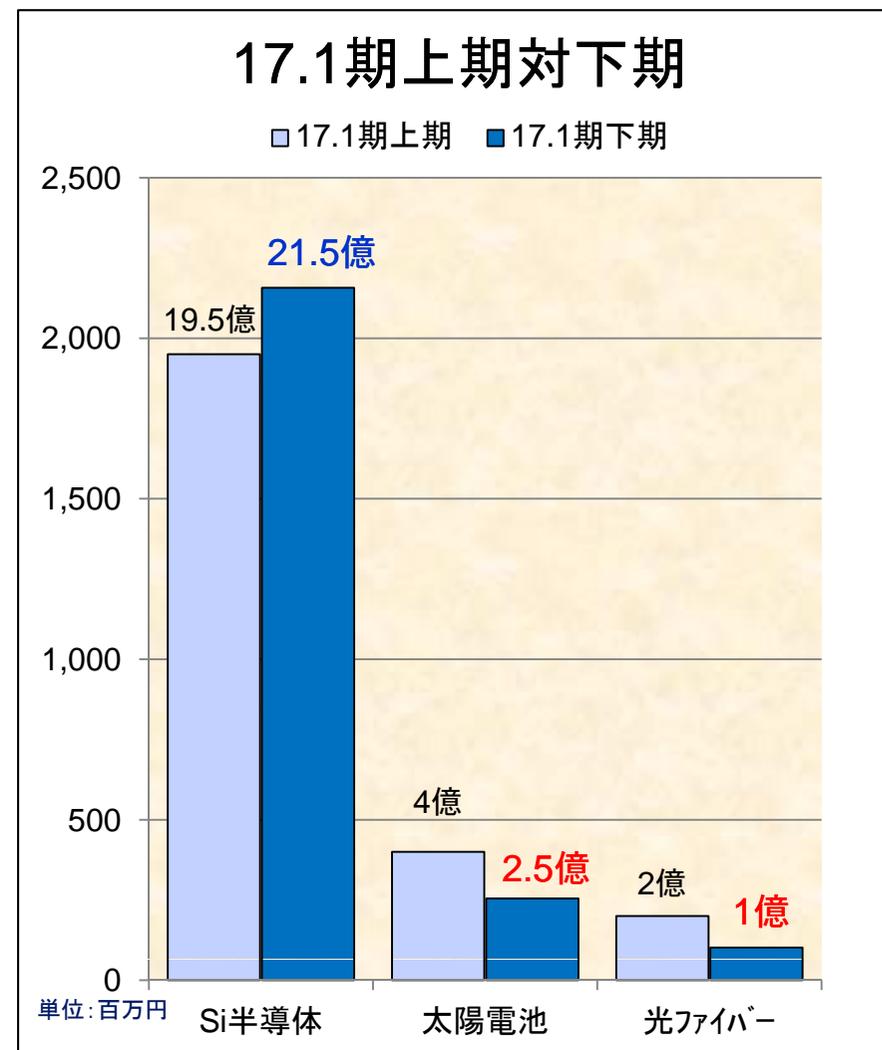
売上分析(製品用途別)



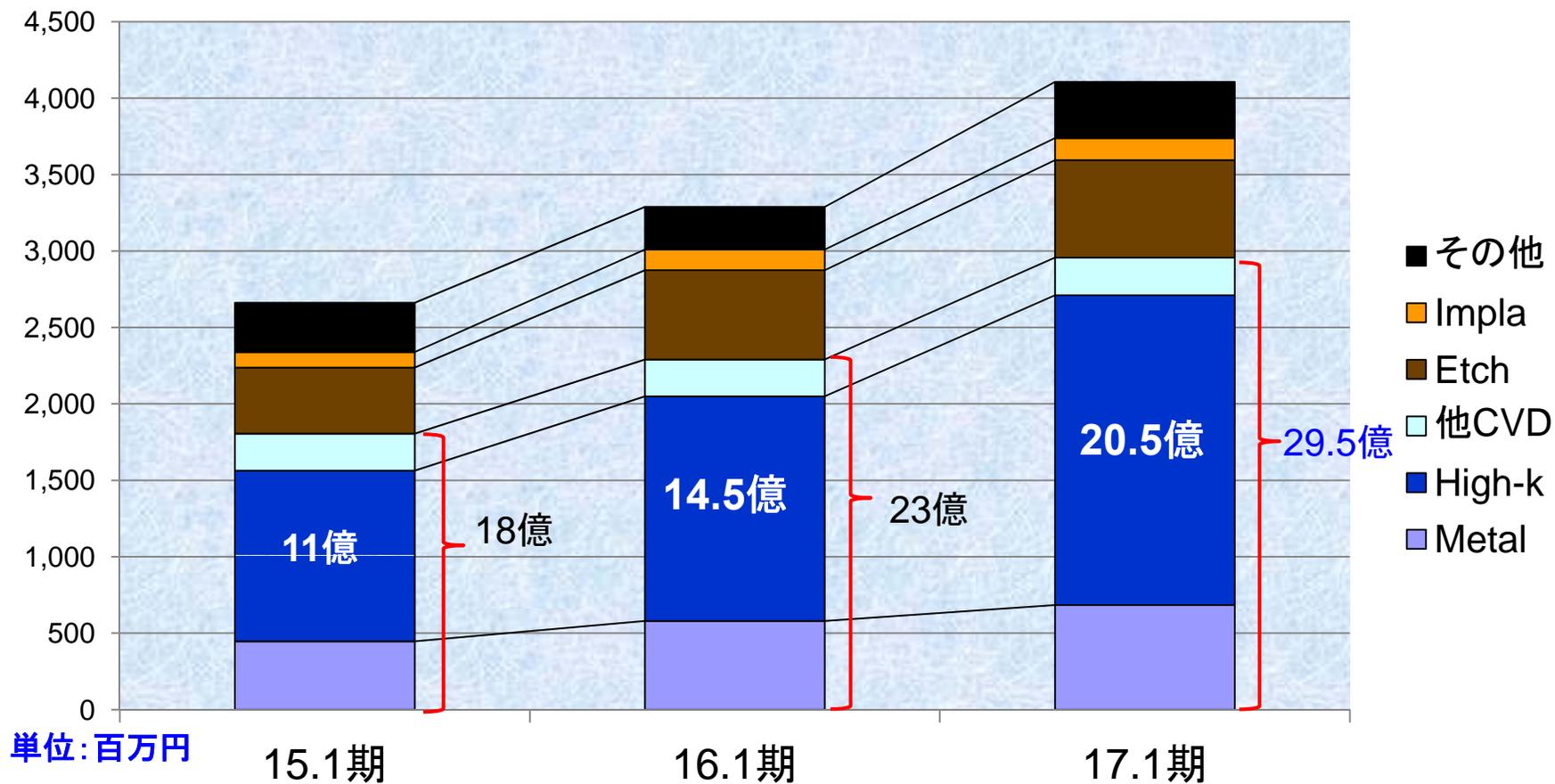
※当社推定による概算値

！ Si半導体向け材料が順調
！ 太陽電池向け材料の落ち込み

売上分析(主要製品用途別の対計画比・半期毎推移)



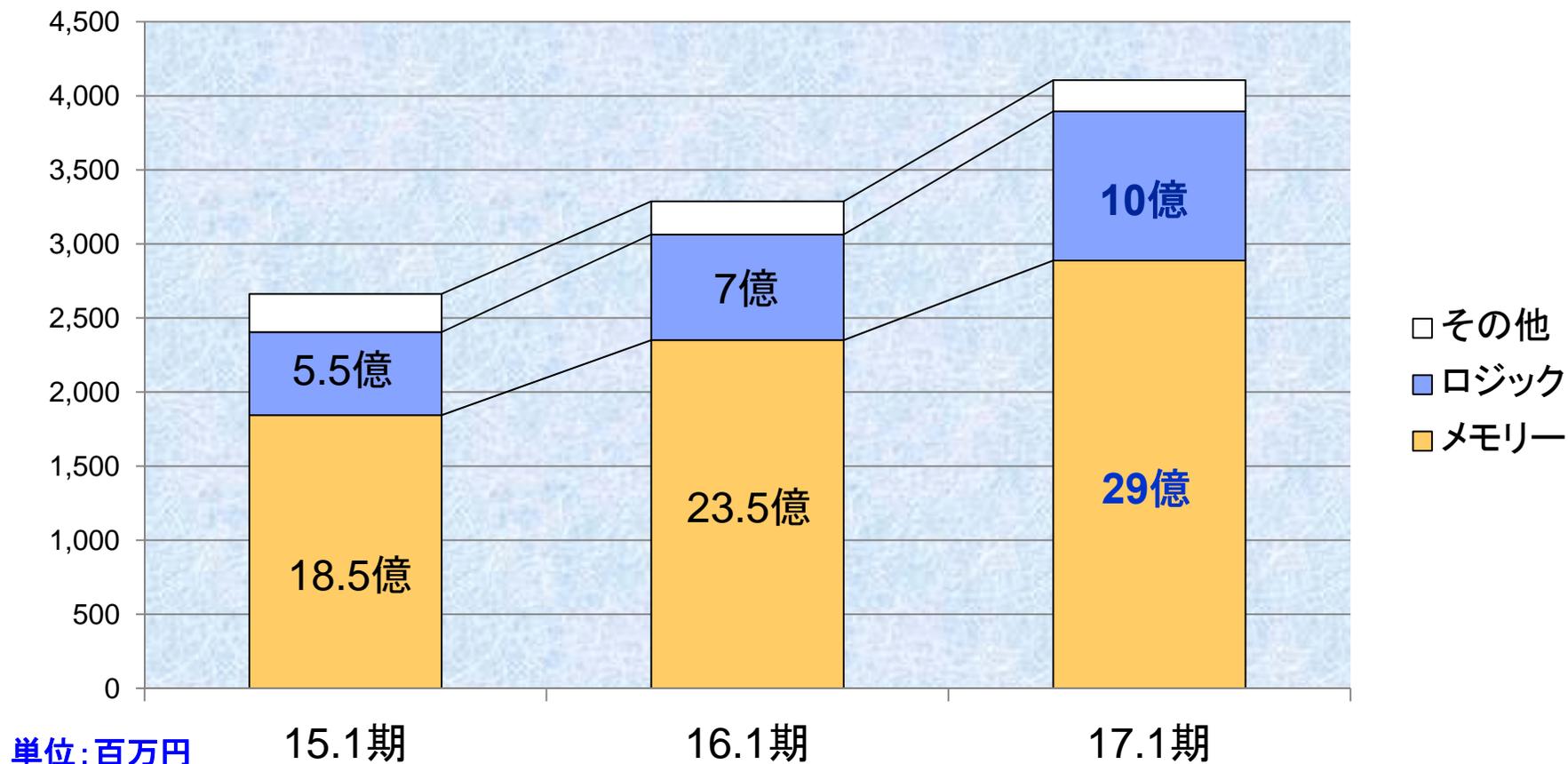
売上分析(Si半導体)



※当社推定による概算値

! High-k材料を中心に先端半導体向け材料の成長

売上分析(半導体向け先別)



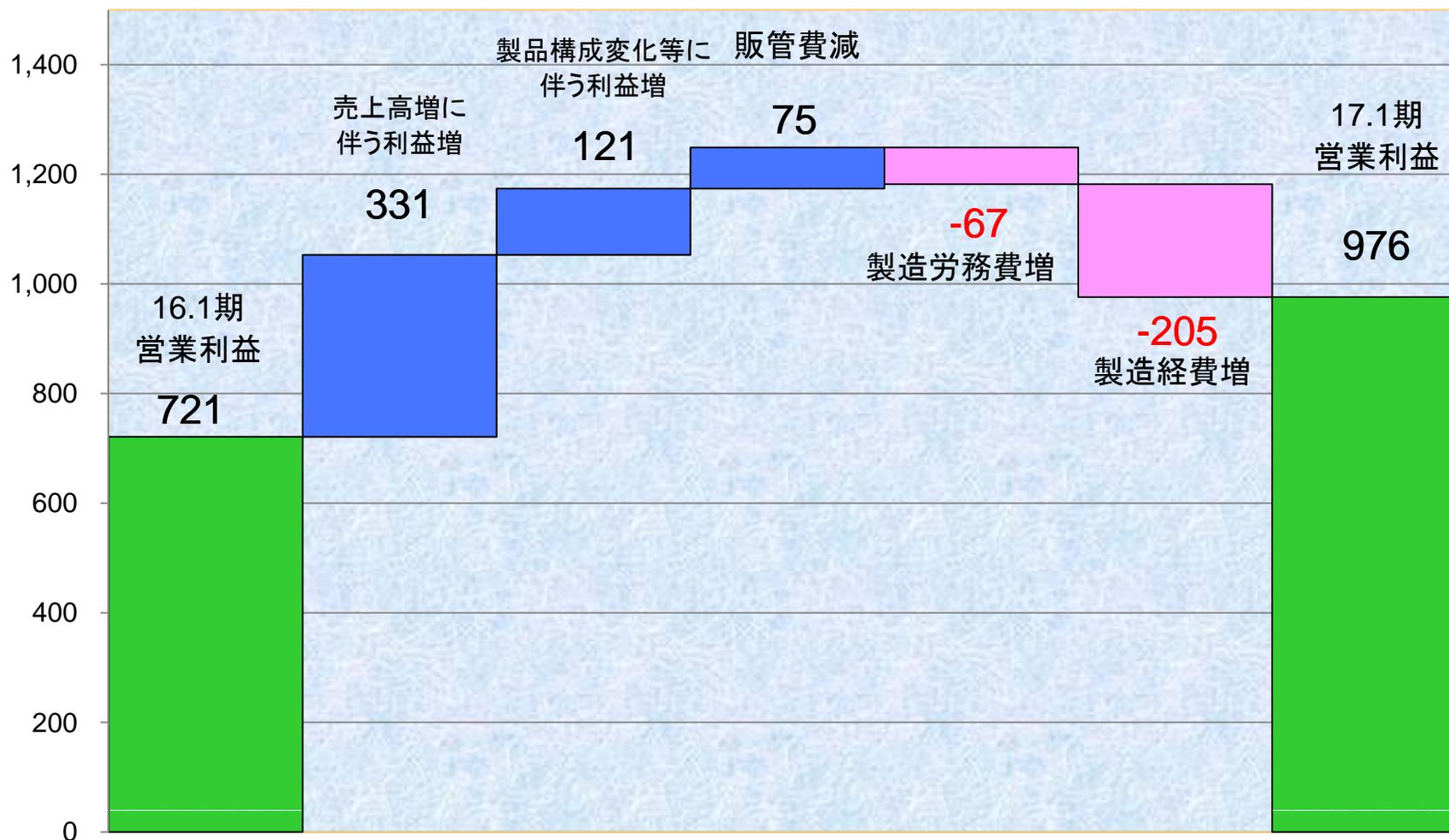
単位:百万円

※当社推定による概算値

！メモリー・ロジック共に売上増

2017年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



※研究開発費振替前

2. 2018年1月期業績計画

2018年1月期 通期戦略

外部環境

- 半導体市場は堅調な成長を維持
- 太陽電池向け材料の回復には時間を要する

今期の取り組み・施策

1. 売上高増加に向けての取り組み

- 先端半導体向け材料の販売拡充を継続
- 海外展開は台湾・韓国市場を中心に拡大

2. 中長期的成長に向けての社内体制構築

- 社内組織体制の整備と強化
- 開発・生産・品質保証体制の更なる強化

2018年1月期業績予想

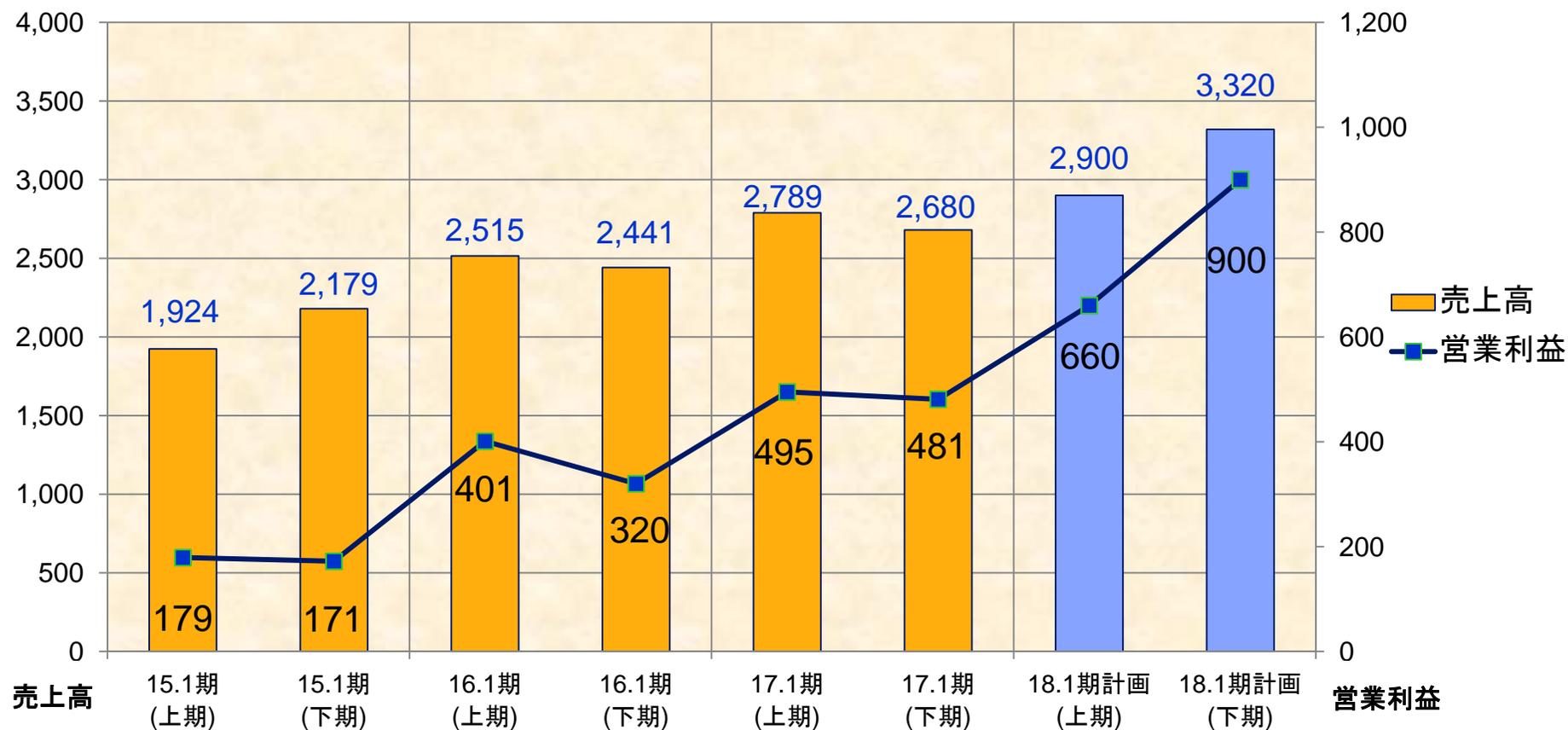
単位:百万円

	17.1期	18.1期計画	増減率
売上高	5,469	6,220	13.7%
営業利益	976	1,560	59.7%
経常利益	975	1,540	57.9%
当期純利益	767	1,050	36.8%

！売上高・利益とも過去最高業績をさらに更新
！売上2ケタ成長の維持、利益は大幅増を見込む

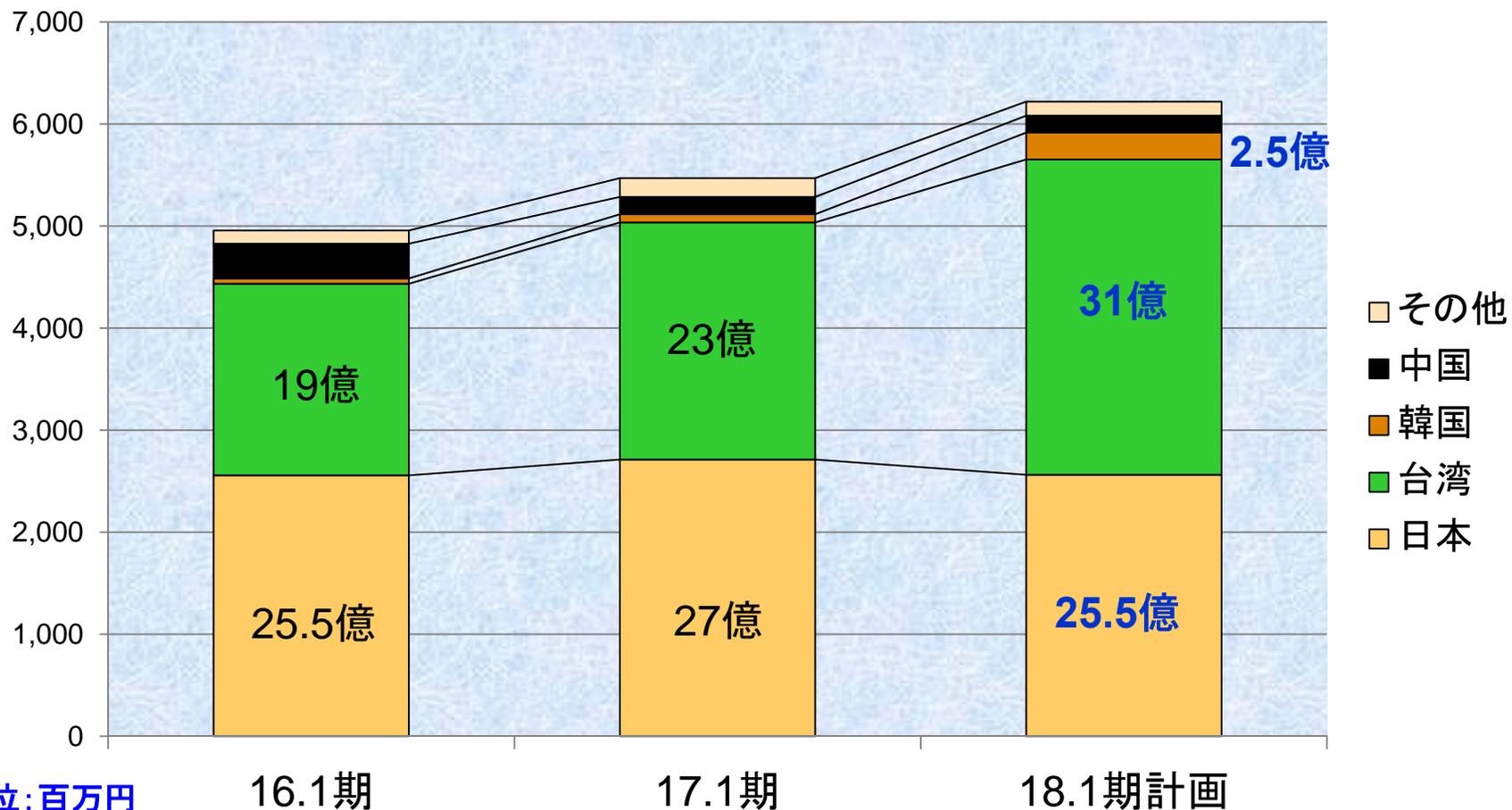
業績の推移 (半期毎)

単位: 百万円



！ 売上高・利益共に成長を持続
！ 韓国向け売上は年の後半から成長の見込み

2018年1月期売上分析(ユーザー地域別)

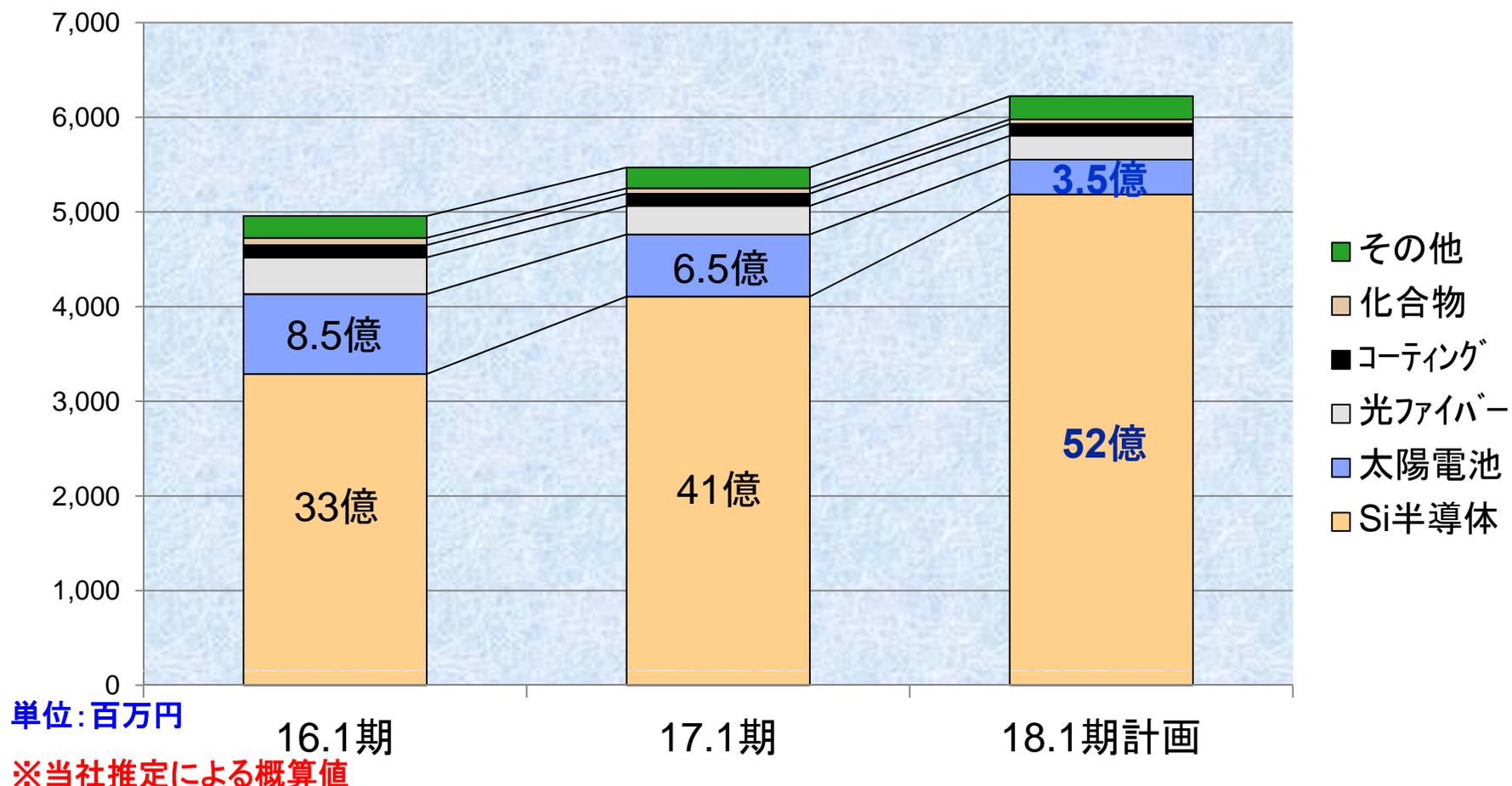


単位:百万円

※当社推定による概算値

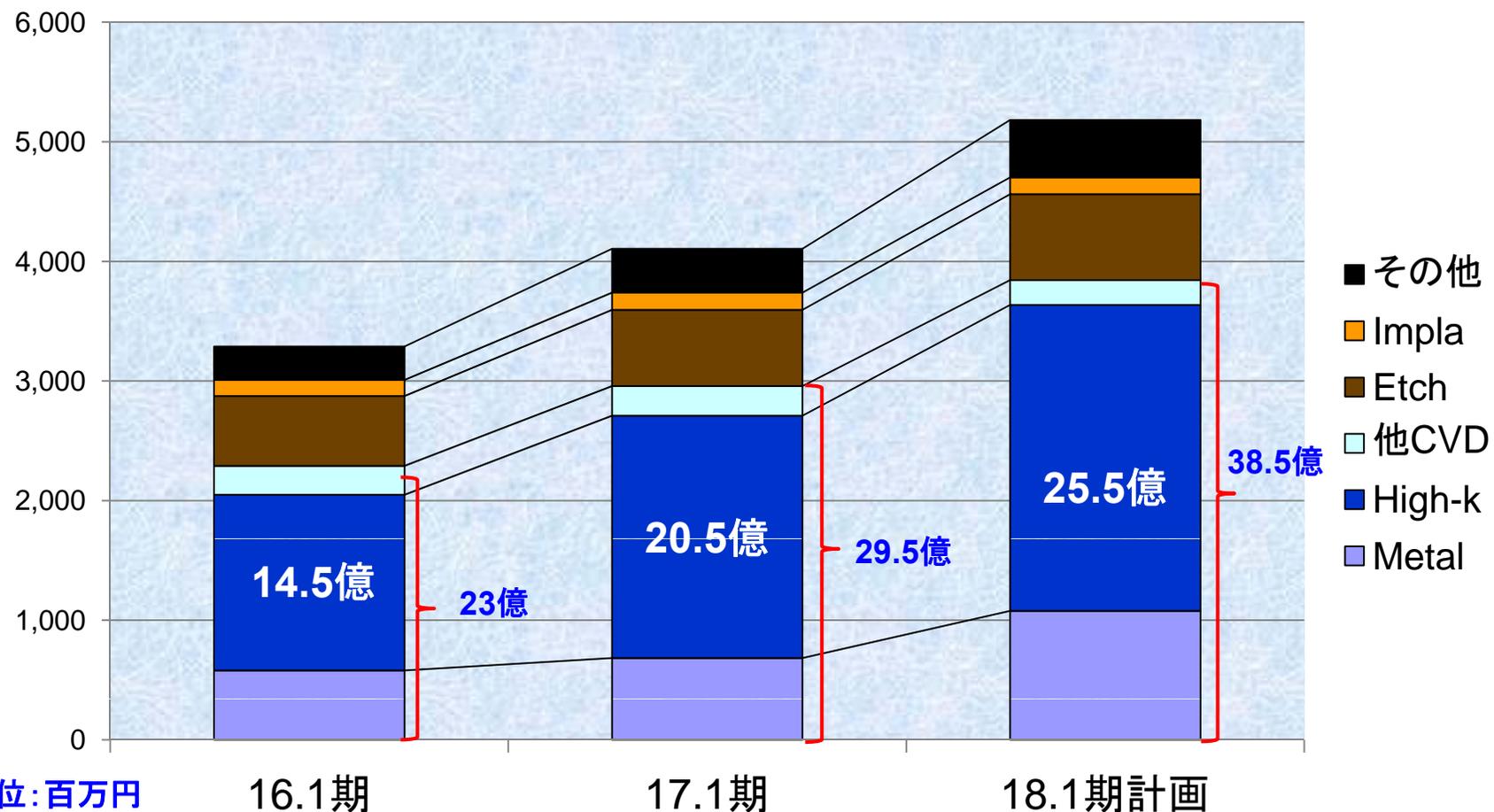
！台湾向け売上が大幅伸長の見込み
！韓国向け売上も再成長を見込む

2018年1月期売上分析(製品用途別)



！ Si半導体材料の継続的な成長
！ 太陽電池向け材料は低調に推移する見通し

2018年1月期売上分析(Si半導体)



単位:百万円

16.1期

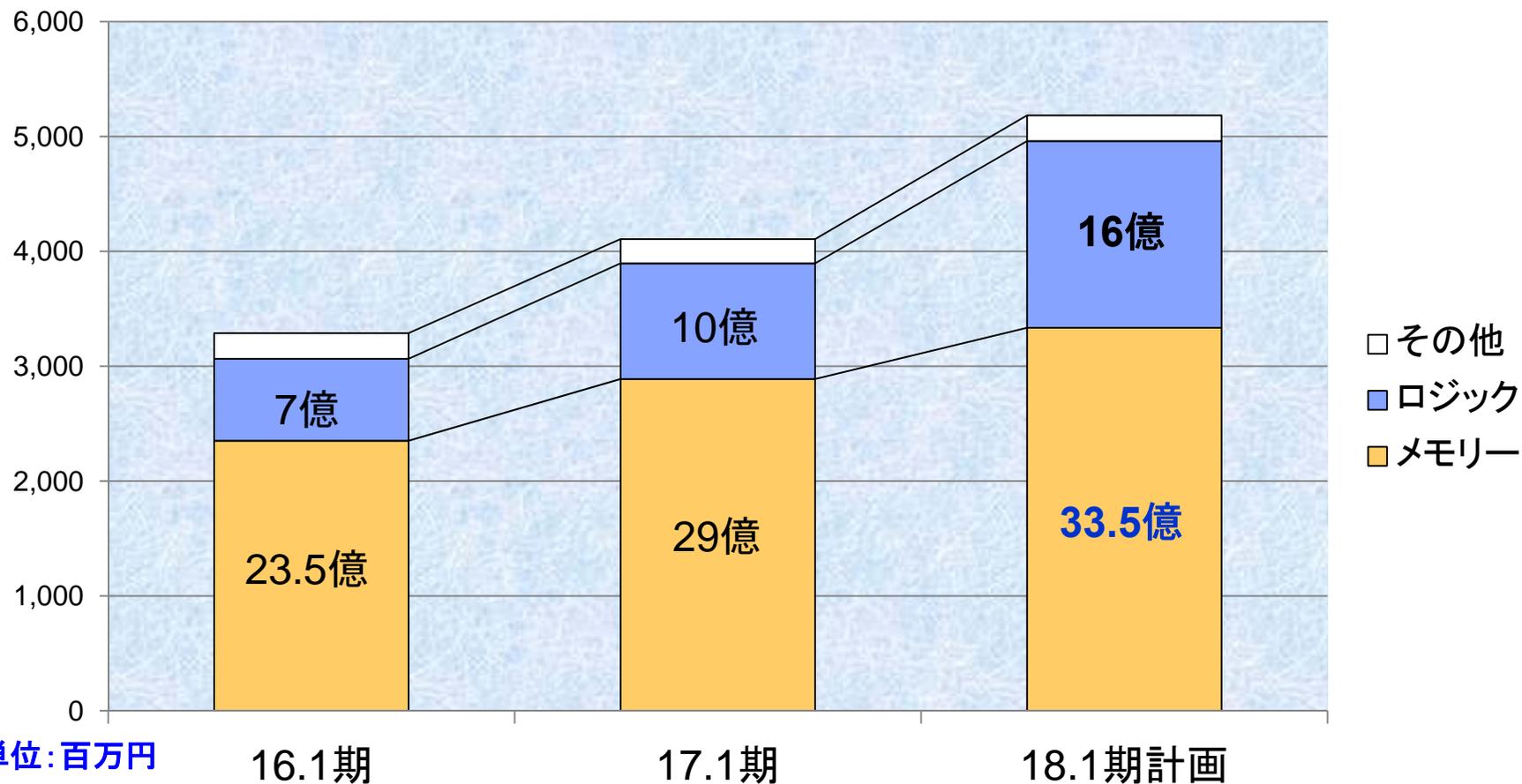
17.1期

18.1期計画

※当社推定による概算値

! High-k材料、Metal CVD材料の成長を見込む

2018年1月期売上分析(半導体向け先別)

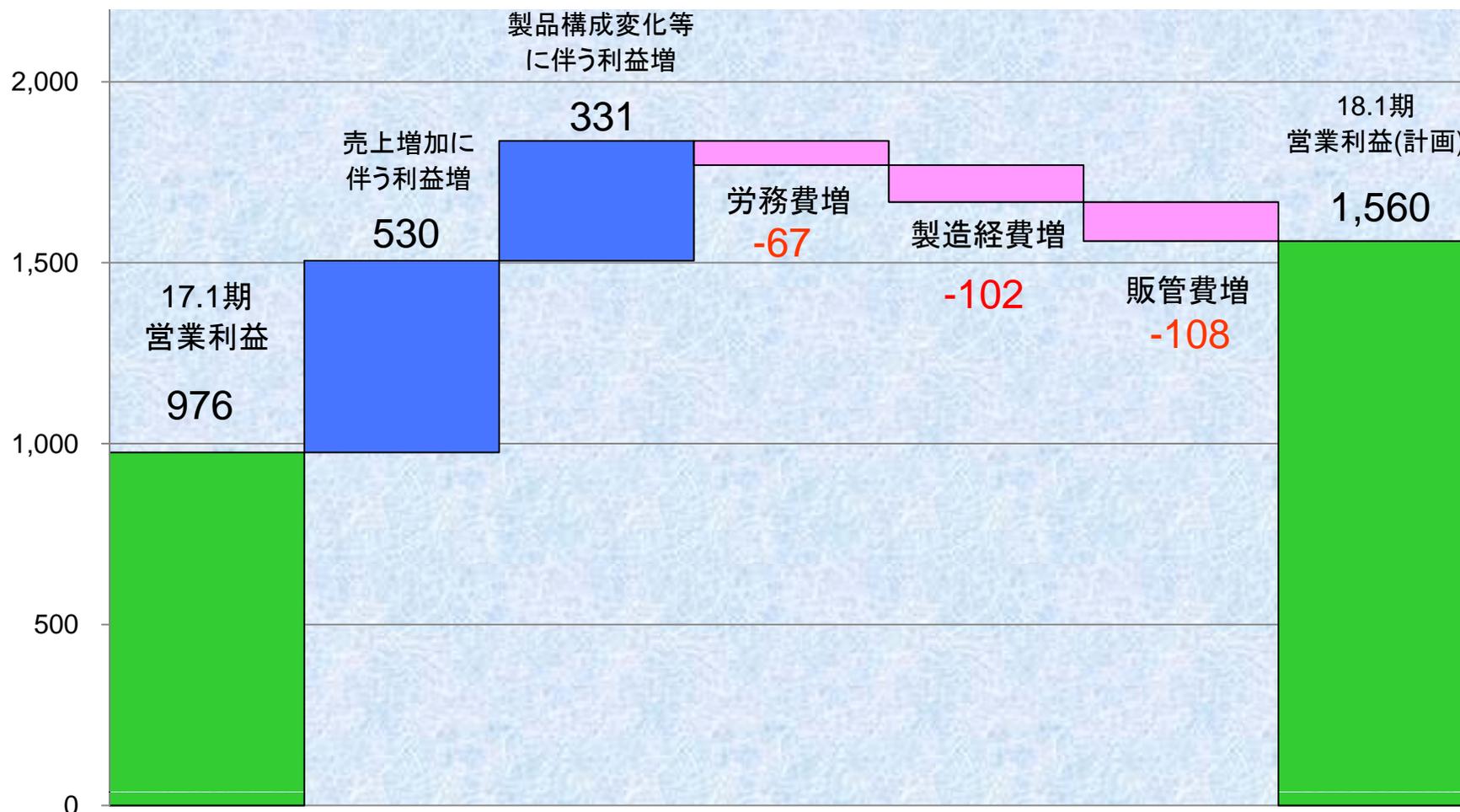


※当社推定による概算値

！ロジック向けが大幅成長の見込み

2018年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



※研究開発費振替前

3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 為替は110円/米ドルを中心に推移

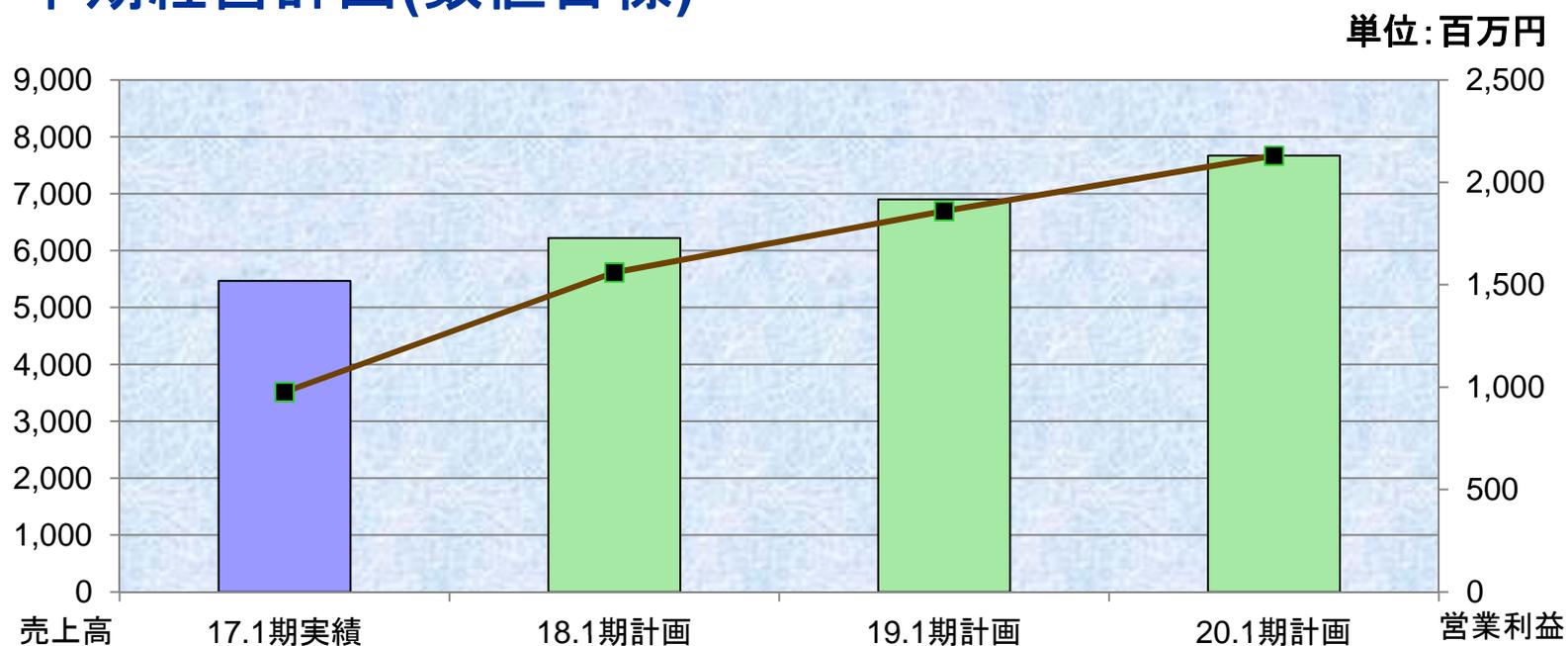
2. 予測される販売価格の変動は織り込み済み

3. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	18.1期	19.1期	20.1期	3期合計
投資総額	1,419	1,505	1,110	4,034
償却費総額	391	541	663	—

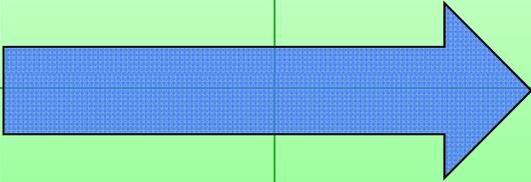
4. 増員計画 正規・非正規雇用を含め数名~10名前後/毎期の増員

中期経営計画(数値目標)



	17.1期実績	18.1期計画	19.1期計画	20.1期計画
売上高	5,469	6,220	6,900	7,670
営業利益	976	1,560	1,860	2,130
経常利益	975	1,540	1,840	2,110
当期純利益	767	1,050	1,260	1,460

中期経営計画(財務目標)

	17.1期実績	18.1期計画	19.1期計画	20.1期計画
売上高 営業利益率	17.9%	25.1%	27.0%	27.8%
自己資本比率	57.7%			(目標)現状以上
ROE	20.6%			(目標)20%超

適正な資本を維持しつつ(現状より改善を目標)、
 事業利益を増大させ、企業価値の増大に努める
 中期目標ROEは**20%台の維持**
 →昨年掲げた上記の目標を本計画でも継続

中期経営計画:達成に向けて

外部環境

- 半導体市場は当面成長を継続
- 半導体微細化により材料、プロセスは進化
(新材料ニーズ・3D積層等)
- 太陽電池市場は低迷、光ファイバー市場は横ばい程度

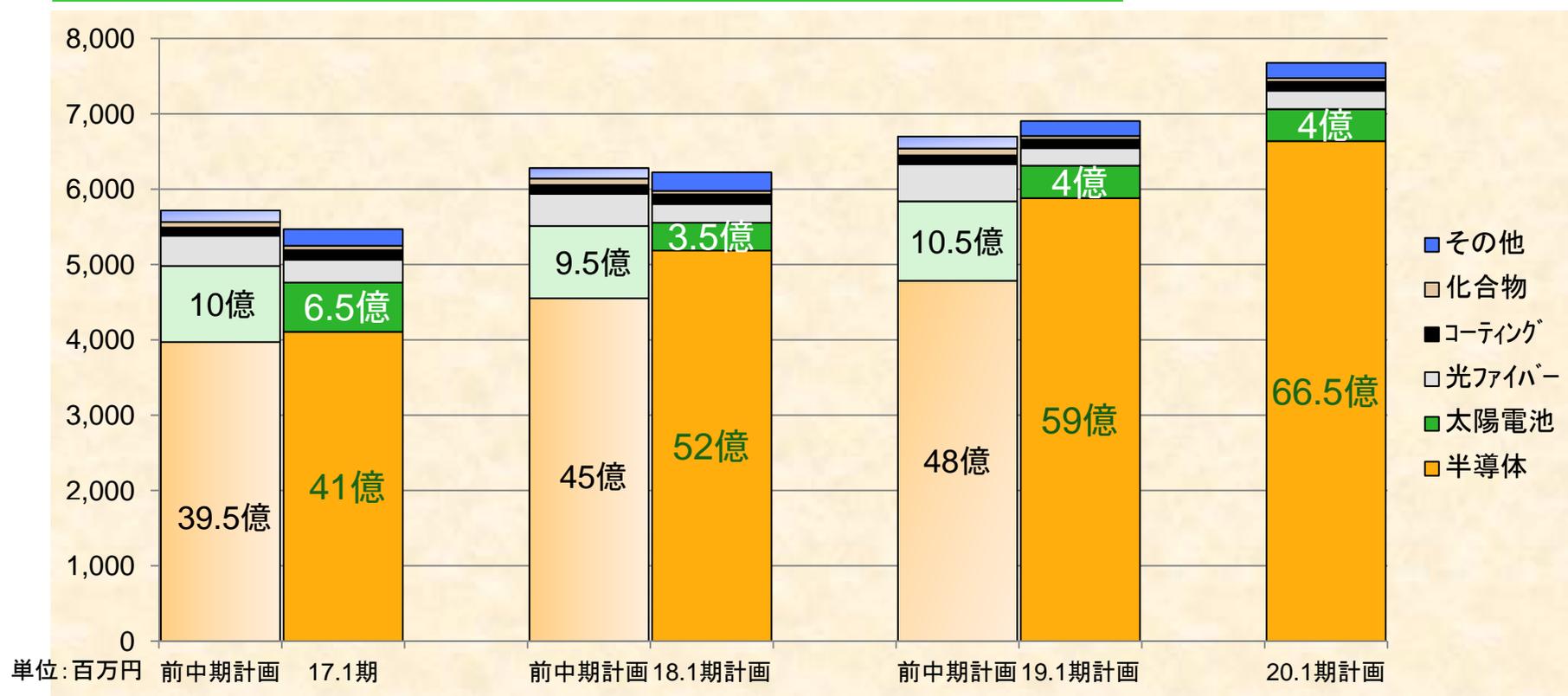
当社の取り組み

- 積極的な投資による生産・開発能力の向上・効率化
- 台湾子会社・韓国関連会社を中心としたアジア市場拡大

中期経営計画重点戦略：製品戦略

太陽電池向け材料は伸び悩むも好調な半導体向け材料に注力

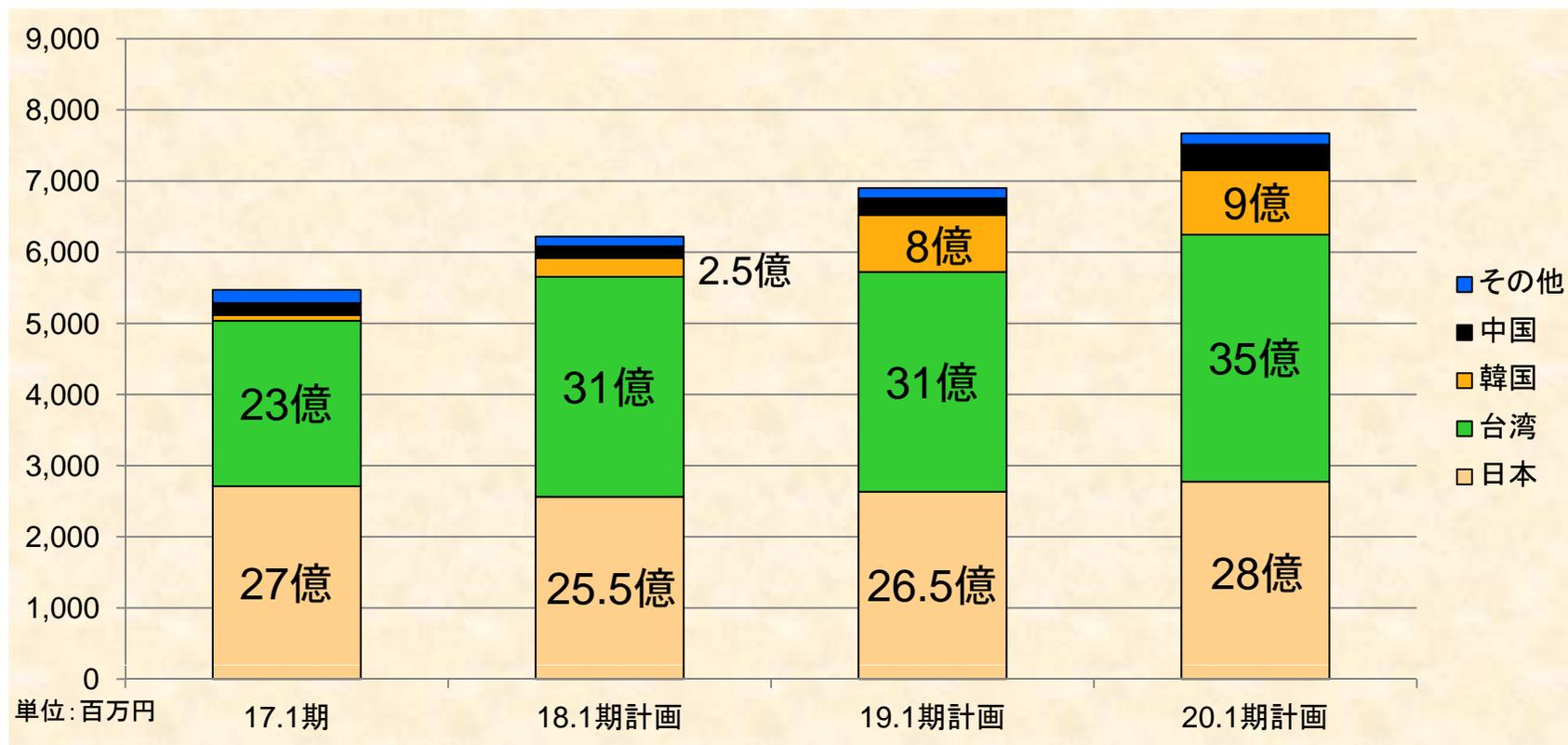
中期販売計画(製品用途別)※前中期計画との比較含む



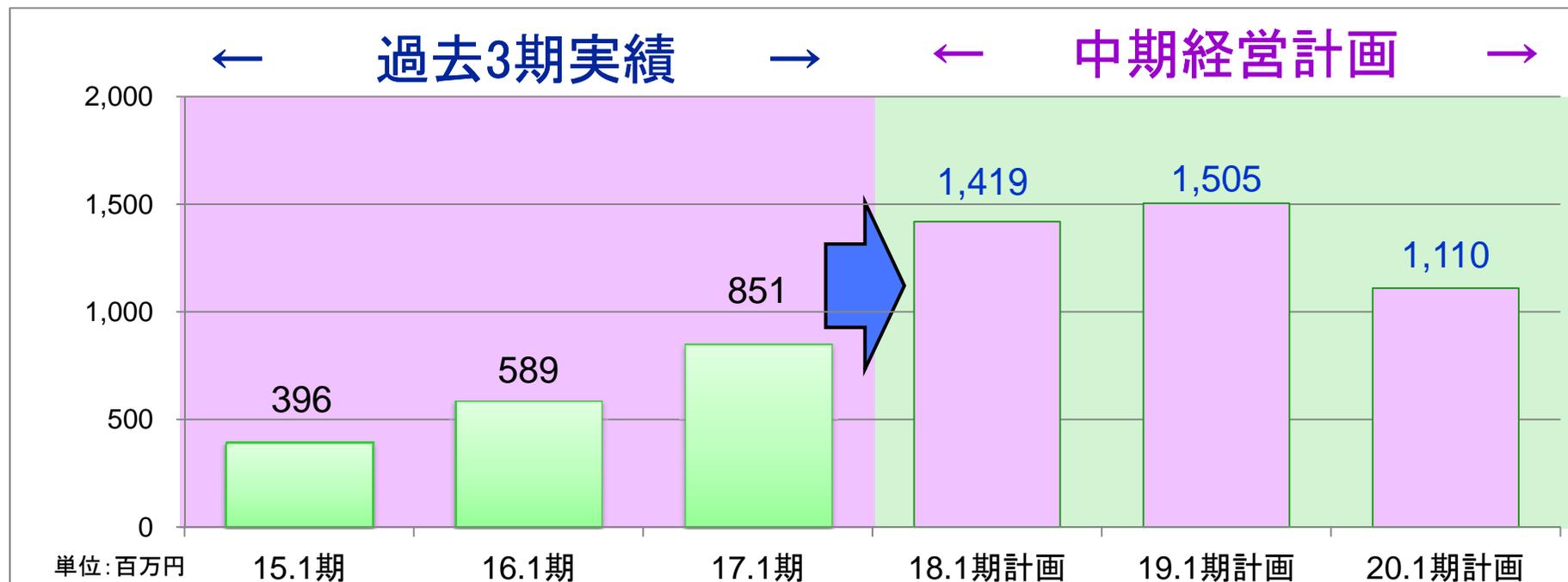
中期経営計画重点戦略：地域戦略

台湾・韓国市場を中心とした成長
国内向け売上は安定路線

中期販売計画(地域別)



中期経営計画ピックアップ: 中期設備投資について



- ・過去3期の水準を大幅に上回る投資を計画
 1. 中期のグローバル展開のための投資
 2. 新規製品の事業化、大量化の投資
 3. 既存事業設備の生産・開発体制再構築

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com